

水深とシルト率が亜熱帯海草藻場の分布に与える影響

Factors responsible to subtropical seagrass distribution, depth and siltation.

田中 義幸[1], 茅根 創[2]

Yoshiyuki Tanaka[1], Hajime Kayanne[2]

[1] 東大・理・地球惑星, [2] 東京大・理・地球惑星

[1] Earth and Planetary Sci., Univ. of Tokyo, [2] Earth & Planetary Sci., Univ. Tokyo

インド洋・西太平洋の熱帯・亜熱帯における海草藻場では、種の多様性と多種の混生が特徴である。琉球列島石垣島では9種の海草が観察された。複数の要因が海草の分布を規定すると考えられているが、これまでに複数の要因を1度に比較検討する研究は行われてこなかった。本研究では、水深とシルト率という2つの主要な要因と海草の分布とを同時に比較検討した。種構成と LAI (底面積に対する総葉面積の割合)にもとづくクラスター解析の結果、石垣島の周囲に設定した6測線上の26地点は4つの大きなグループに分類された。これを2つの要因と比較した結果、水深の方がシルト率よりも海草の分布をより強く規定している事が明らかになった。